

17NSJ 感想 (県連報告用)

ジャンボリーの思い出

金谷 1 団トナカイ班班長 加藤至

今回の 17NSJ ではたくさんを経験した。1 日目は移動と設営だった。バスの中から外をみると田んぼがたくさんあって、北陸にきたなど実感がわいてきた。設営では周りになんにもない草地にテントやフライを立てた。あつくはるとみんなは休みはじめてなかなかうごいてくれないこともあった。1 日のつかれでトランプをする余力もなく寝てしまった。2 日目は、午前はじめに設営を終わらせて会場を見てまわった。会場は予想していたよりもとてもひろくておどろいた。夜、開会式は行くのが遅くなってしまって後からしか見られなくて残念だったけれどついに 17NSJ が始まったんだとわくわくした。3 日目は初めてのプログラムは海が荒れていて泳ぐことができなかった。でも浜辺で楽しむことができた。日本一ゲームは十分前に受け付けができなくて参加できなかった。時間を守ることは大切だと思った。4 日目は友情ゲームで早くそろえることができたからよかった。大集会は前回より前に行くことができた。5 日目はつかれも出てきたけど班のまとまりがでてきて言ったことはするようになった。プログラムでは主にボルダリングがおもしろかった。交換会は 4 県でやっているいろんな人とであえた。2 日目から帽子に貯めてきたサインもたくさんになった。6 日目、日本一ゲームに今度こそは参加できた 2 日見学したのと上班の作戦でうまくいきそうだったけれど最後 30 秒くらいでたたなくてくやしかった。リベンジしたい。閉会式はいままでで一番前に行けて盛りあがることができた。NSJ が終わってしまうことが寂しく感じた。このジャンボリーで一人一人が自分で動くようになって班としてよりよいものになったと思う。17NSJ の最高の 1 週間で体験したことを今後の活動にいかしていきたい。